

私は、みんなが笑顔になったり拍手をしたりすることで、社会が明るくなると思います。

なぜなら、私の経験上、1年生の時の教室で、1人の男の子がいる時は、面白くてみんなが笑顔になってました。その時の教室は明るく感じました。しかし、その男の子が休みの日は、みんな全員で笑わなかったので少し教室が暗くなっていたなと思いました。他にも体育大会でたくさんの人が集まり、みんなが盛り上がり笑ってる時は、練習の時とは違う明るさがありました。自分自身も笑っている人がいるとつられて笑ってしまいます。その時、私の気持ちも明るくなり気分も上がりやる気も上がります。その場にいる人の表情で、みんなの気持ちも明るくなるんだなと思いました。私は友達から言われた

「1人がずっと笑顔なだけで結構楽になれるよね。」

という言葉が頭に残っています。私はその日からずっと笑顔でいたいなと思い始めました。ダンスの発表会では、小さい子が笑顔で楽しそうに踊っていました。すごく輝いていました。自分も笑顔になりました。なぜかとても嬉しかったのを覚えています。小さい子が踊り終わった後に

「楽しかった。もっと踊りたかった。」

とつぶやいていました。私はこの言葉と、私の気持ちは同じで、やっぱり笑顔って何人もの人が幸せになれるんだなと実感しました。笑顔でも明るくなりますが、それに付け足して拍手もすごく明るくなるんじゃないかなと考えます。それは何かを発表した時やチャレンジに成功した時、お祝い事の時などたくさん例えがありますが、自分が発表した時に拍手をしてもらおうと、頑張った甲斐があったなと嬉しくなりません。私は拍手をしてもらおうと、とても嬉しくなります。小学生の頃に1人が拍手をしました。そうしたらクラスのみんなが拍手をしました。その時に前に立っていた人も嬉しそうに笑っていました。拍手をすると笑顔になり、暖かく明るく、いい雰囲気になるので良いことしかないと思います。拍手が日本で始まったのは、明治時代にあたる1875年頃で、その当時は西洋人が音楽会や観劇のあとのマナーとして始まったそうです。昔から今までずっと受け継がれてきたので今の私たちも当たり前でできているんだなと思いました。このように一人一人の表情や仕草それだけで、私たちの世界は暖かく明るくなると思います。みんながこの一瞬、一斉に笑顔で拍手をすともものすごくいい気持ちになりこれからも無意識にできているかもしれない。見ている側も、している側もこの社会全体が変わる私たちの運動だと思います。これからも誰かにただ挨拶をするだけでなく、笑顔で挨拶をしたり、少しでも拍手をしたりした方がいいかなと思ったら、ちょっとしたことでも拍手をしてこの社会を明るくしていきませんか。